

ウィリアム・ダンカン氏を招聘してP2M新春講演会
 第2回PMS資格取得の講習会 実施中
 第2回PMS資格試験 受験生募集中
 第1回P2Mクラブ 会員の集い 開催
 関西地区で第2回「P2Mセミナー」開催
 PMCC 関西委員会 設立
 P2M 企業内研修 活発化
 会員企業紹介シリーズ ……NEC Eラーニング事業部様



特定非営利活動法人
 プロジェクトマネジメント資格認定センター

P2Mクラブ発足を迎えて・・・小原教授



千葉工業大学 小原教授

2002年12月、PMCCによる職業人P2Mクラブが誕生した。この新しいタイプの発展こそ、新生産業界や行政サービス改革の発進基地になる。職業人は専門家として、知的サービスを提供することを使命とする。しかし、さらに重要な意識は、社会あ

るいはグローバルな貢献である。日本で初めてのPMRの価値は、今後の成果による評価で決まる。

健康な3つの気は、元気、空気、気力。「失われた10年」と回顧するように日本経済は停滞しているが、中国の台頭やバブルの原因に帰することでなく、わが身の問題として再生への学習教材とすることが大切である。病は気から起きるという言葉が示すように、文字どおり「元気を取り直す」元気こそ健康の秘訣である。元気は、体力、知力、気力が健康な個人的要件である。しかし、組織が改革を嫌う保守風土に固執する限り、国家としての活性は生まれない。政府、産業、自治体、教育界が、知識・情報社会へ対応する改革意識が必要である。改革の成否は、空気に左右される。

全体観のある空気を創る。この空気を中心はプログラム発想である。「高い視点と広い視野」というP2Mが掲げる人材像は、「新しい仕組み」を創る象徴的な先兵である。日本は世界第2位の技術があり、資金もありながら新規事業が創業率も環境も49ヶ国中最下位である。新しい事業を成功させるには、経済、市場、技術、法律、財務の広い知識に裏づけられた視野が必要であるが、そのような人材育成はこれまで制度的になされていない。

「数学や語学」は理系か文系への踏絵や指標となり、弁護士、会計士などの職業資格も縦断的知識の専門家でも横断的知識の専門家ではない。P2Mは日本で初めての画期的な資格であることを誇りとして、活躍して欲しい。

ウィリアム・ダンカン氏を招聘してP2M新春講演会

PMCCでは、PMI®PMBOK® GUIDE 96年版の生みの親で米国PM振興協会(ASAPM)副会長のMr. William Duncanを招聘し、新春講演会を東京と大阪で開催いたします。P2Mをより多くの方々にご理解頂くために、関係者をお誘いの上、奮ってご参加ください。

大阪

- ・日程 平成15年2月4日(火) 13:00~17:00
- ・会場 関西経済連合会会館ホール(大阪市中之島センタービル)
- ・プログラム
 - ~日本企業の競争力とプロジェクト&プログラムマネジメント~
 - ・日本企業の競争力
神戸大学教授 延岡健太郎氏
 - ・世界のプロジェクトマネジメントの潮流
米国PM振興協会副会長 Mr. William Duncan
 - ・新しいプロジェクトマネジメントP2Mのパラダイム
大阪大学大学院教授 浅田孝幸氏

東京

- ・日程 平成15年2月7日(金) 13:00~17:00
- ・会場 アジュール竹芝 (JR浜松町駅下車)
- ・プログラム
 - ~ネオIT革命とプロジェクト&プログラムマネジメント~
 - ・ネオIT革命・日本型モデルが世界を変える
一橋大学教授 米倉誠一郎氏
 - ・世界のプロジェクトマネジメントの潮流
米国PM振興協会副会長 Mr. William Duncan
 - ・新しいプロジェクトマネジメントP2Mのパラダイム
PMCCプラットフォーム委員会委員長 武富為嗣氏

William (Bill) Duncan ウィリアム (ビル)ダンカン氏



米国ボストンのプロジェクトマネジメント・コンサルタント企業PM Partners Inc. 代表。1990年代初頭から98年まで、世界最大のPM協会PMI®の理事・スタンダード委員会委員長を務め、主席著者・編集者として、米国のプロジェクトマネジメント知識体系となったPMBOK® Guide 1996年版を作成しその生みの親となった。その後、米国プロジェクトマネジメント振興協会(ASAPM)の設立に参画し、現在スタンダード担当副会長。

第2回 PMS資格取得の講習会 実施中



3月16日(日)に実施される第2回PMS資格試験に向け、第2回PMS正規講習会(8日間コース)が昨年12月14日から実施中です。一段と厳しい経済環境となり、受講者の応募を心配しましたが、11月末で170名の申込みを頂き、レギュラー3クラスを編成してスタートしました。場所は新橋の航空会館です。

さらに、一部希望者のため、渋谷「フォーラム8」において、短期間コースを1月下旬から1クラス実施します。受講者は合計で200名になりました。寒さ厳しいなか、PMS資格試験に向け、熱心な勉強が続けられています。

尚、今回の講習会から「厚生労働省教育訓練給付制度」の適用講座に指定されています。

第2回 PMS資格試験 受験生募集中

第2回プロジェクトマネジメント・スペシャリスト(PMS)資格試験が、3月16日(日)に実施されます。会場は、東京会場(工学院大学新宿校)と京都会場(PHP研究所京都本部)です。関西地区からの要望も多く、今回初めて関西地区で試験を行なうことになりました。

受験申込書の受付は、昨年12月16日(月)より始まり、2月14日(金)が締切になっています。合格発表は、4月23日(水)の予定です。多数の受験申込みを期待しております。すでに、ポスターや新聞広告でも広く募集をご案内しておりますが、会員企業におかれましても



PMS 資格試験
受験募集ポスター

受験応募のご支援をお願いいたします。

なお、第1回PMS資格試験は、昨年8月4日(日)に実施しましたが、幅広い業種から約600名の方々が受験され、252名が合格されています。

第1回 P2Mクラブ 会員の集い」開催

昨年12月16日(月)、第1回P2Mクラブ「会員の集い」を開催いたしました。会員資格を有するPMS資格認定登録者237名のうち、約1/4の56名の参加をいただきました。

PMCCの活動状況、P2Mクラブの活動計画、資格更新のための資格継続学習基準などをご報告するとともに、P2Mの立上げにご尽力いただいた方々を、特別会員としてそれぞれ名誉会長、顧問、特別参与にご就任いただくことになりました。また、特別講演としてP2Mクラブ名誉会長の千葉工業大学 小原教授から「P2Mの意義」について、特別顧問の千代田化工建設(株) 西尾清光氏より「P2Mへの期待」ということで「様々な業界から集まった会員一人一人が、



自分達で触れ合いコミュニケーションしていければ良い」とP2Mクラブ入会の意義についてお話いただきました。

講演の後、簡単な懇親会を開催し、会員相互の交流を深めました。懇親会では、P2Mクラブ顧問にご就任いただいた経済産業省国際プラント室 後藤室長から、会員の活躍を期待する旨のご挨拶をいただき、参加者一同感銘を受けました。東京大学 吉田名誉教授の乾杯の音頭を皮切りに懇談が始まり、フェースツーフェースの和やかなひとときとなりました。

出席した会員の皆様から、「集いに参加して良かった」「P2Mクラブに期待する」「今後の情報をどしどし欲しい」等ご要望をいただきました。事務局としても、今後の運営に寄せる皆様の期待の大きさをひしひしと感じ、頑張らなくてはとあらためて痛感しました。

関西地区で第2回「P2Mセミナー」開催

12月6日（金）、大阪府立労働センターで、「変革型リーダーを育てるP2M」と題し、有料のPHP特別セミナーを開催いたしました。参加者は、関西地区の有力会員企業を中心に60名余にのぼりました。

経済産業省 後藤室長の特別講演の後、大阪大学 浅田教授からは、「関西ではプロジェクトマネジメントの取組みが弱い。今後

の取組みが重要である」との報告がなされました。また、川崎重工業（株）小石原氏の



一大プロジェクトの体験談は、多くの人に感銘を与えました。最後に、今後の関西地区でのP2M普及活動についてPMCC石倉事務局長から報告されました。関西地区でも徐々にP2Mへの関心が高まりつつあります。

「PMCC 関西委員会」設立

関西でのP2Mセミナー当日、関西の有力会員とPMCC事務局で関西委員会を開催しました。席上、来る3月16日のPMS資格試験を関西でも実施すること（京都駅前

PHP研究所京都本部）5月以降の講習会の進め方などを検討しました。そして今後、関西委員会を中心に関西地区でP2Mの普及を図っていくことなどを決定しました。

P2M企業内研修 活発化

松下電器システムソリューション事業本部様で、既に3回の企業内研修を終了したのをはじめ、



NEC・Eラーニング事業部様の社内研修、NEC・ユニバーシティ様主催のP2M企業内研修等が活発に行なわれています。また、（株）旭ガラス・マシナリー様では、幹部研修会にP2M特別講演会を取り入れ、昨年11月27日（水）に勉強会を行ないました。さらに、大日本印刷（株）C&I事業部様でも、2月15日より2日間コースでP2M講座を予定しています。

P2M企業内研修は、P2Mの特長である「ミッションからの全体発想と仕組みづくり」を学び、仕事の革新に生し、企業価値を高めようという狙いで進められています。

PMCCでは、P2M企業内研修の様々なコースを準備しております。会員企業の方で、企業内研修の企画がありましたら、PMCCに是非ご相談ください。

会員企業紹介シリーズ
NEC Eラーニング事業部様
プログラムマネジメント力強化の教材としてP2Mを採用

NEC様では、情報システム開発におけるプロジェクトマネジメントの重要性から、10年以上に渡りプロジェクトマネージャの育成に力を入れてこられました。現在では、プロジェクトマネジメントの教育コースが10コース以上体系化され、システムエンジニアの基本的スキル育成のため、あるいはプロジェクトマネージャの社内専門資格を得るため条件として、必須コースと選択コース

など設定されています。そして、同社の経営戦略や事業環境に応じて常に見直し、改善が行われています。例えば、PMBOKとPMP資格が国内で認められ、デファクトスタンダード化した動きを捉え、2000年よりPMBOKに基づく大幅な見直し改善が行われました。これにより同社ではPMP資格取得者が350名を超えています。

上記教育コースは、150名以上の体制をもつ事業部門がNECグループの人材育成の一環としてこれらを実施するとともに、同社のお客様に対しても教育サービスとして提供されています。

P2Mはこのような状況のなかで、2001年末に登場しました。同社にとって、P2Mは、PMBOKにない、企業戦略に基づくプロジェクトの企画、提案、評価、選択といったプログラムマネジメントの概念が存在することで特に魅力的と考えられています。

このため、今年度よりP2Mの概要を解説し、普及するための教育コース、PMBOKを補完するためのプログラムマネジメント実践コースをPMCCの支援により開始し、さらにPMSの資格取得推進のための教育コースの準備にも着手されています。

